

竹内栖鳳「竹内栖鳳書簡」

大正14（1925）年7月2

2日

拝啓過日は御招待に預り

一夕の御物語

難有

欣喜仕候。

其後

東京出立

豆東地方漫遊

よこ濱の崖下に日盛りの暑

威を避けて烟草一服。忽見

小童のつり糸に蛸かゝりて

蛸は驚き、童はおとろき、我は

駭く。時下■御自愛被下度。

奥様へよろしく。匆々

旅人

栖鳳

七月二十二日